

～三重に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



新年あけましておめでとうございます

あすなる学園市町支援グループでは、

「途切れのない支援システム」構築を精力的に協働支援いたします！！

三重県に住むすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と協働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 保健・福祉・教育等部局一元化した発達総合支援室（機能）の設置
- ② あすなる学園による3歳児・5歳児「発達チェック」の施行、「個別の指導計画」の作成、巡回指導による支援スキルの導入
- ③ 発達障がい支援システムアドバイザー研修（目利き・腕利き1年間あすなる学園研修）

『途切れのない支援システム』構築 学会を通して全国に発信中！

あすなる学園は、広島で開催されたそれぞれの学会にて発表を行いました。

第49回日本児童青年精神医学会において「5歳児発達チェックリスト三重県モデル(CLM)」(H20.11.5～7)

第17回日本LD学会において「三重県の発達障がい児支援システム」構築方法 (H20.11.22～24)

支援体制を築いていく上での“連携の壁”が最終的な課題とされる中、保健・福祉・教育一元化システムの斬新な手法には、多くの自治体、様々な分野からの注目が集り、県と市町が協働できることへの羨望も含め、次世代育成の新たなスタイルとして捉えられたようです。現在展開中の市町のみならず、全国への先駆者として、胸を張ってお取り組み下さい。支援の輪を拡げていきましょう。



市町の取り組み紹介

今回は、「途切れのない支援システム」構築に向けた各市町の取り組みの様子をご紹介します。どの取り組みからも、大人がこどもに真剣に向き合い、生まれ育つ市町で責任をもって支援していこうとする様子が伝わってきます。



わが町に生まれ育つすべてのこどものために

大台町 福祉課保健師 西山 雅子さん

大台町では、保育士が「子どもの困り感はどこか」「それを改善していくためにどうしていけばいいか」日々試行錯誤しながら保育をしている現状を、指導していただける絶好のチャンスととらえ、20年度に初めてあすなる学園の巡回指導をお願いしました。

担任保育士は忙しい業務の中、6月の1回目の巡回指導を受けるため、「発達チェックの実施」「個別の指導計画の作成」等、いろいろな書類の作成がありましたが、実際に保育現場で子どもを観ていただきながら具体的な指導が受けられる機会であることを前向きにとらえている姿勢が嬉しく、頼もしく感じました。

また、10月の2回目にかけて、変わっていく子どもの姿に驚くとともに、担任保育士の表情の変化にも驚きました。子どもをしっかりと観て寄り添い支援していくことによって、子どもに変化がみられることは、保育士の自信につながっていくことを感じました。

私も一緒に巡回指導を受ける中で、保健師として、妊娠期から母親と接する立場にある者が、早期から子どもの困り感に気づき、保護者との信頼関係を確立した上で、保育所につなげていくことの重要性も痛感しました。妊娠教室や乳幼児相談、1歳6ヶ月児健診等の母子保健事業で子どもや保護者にどのように支援したかを、保育士に文章化して伝えていくことの必要性を考える良い機会をいただきました。

巡回指導を受けて、今後の大台町で“途切れのない支援”ができるようにしていくために以下のことを考えています。

- ① 個別の指導計画を保育士や小学校の特別支援学級担任教諭の前で、発表し意見交換をする場を設定する。
- ② 今年度の計画を小学校への引き継ぎに資料として渡すだけでなく、顔を見ながら口頭でも伝える場を設定する。
- ③ 今年度、指導を受けた児の計画を、次年度にも継続していくようにしていく。
- ④ 事例検討会を年1回あすなる学園の支援・協力をを受けて開催していく。



困ったときには放っておけぬ

津市 こども総合支援室指導主事 藪岸 加寿子さん

津市におけるこども総合支援室の取組について

津市に平成20年4月からこども総合支援室が開設され、教育委員会事務局から兼務という形態で出向してきて、10か月になろうとしています。市内の保育園及び幼稚園にて、幼児の行動観察後、職員や保護者への助言等を行うため外出することが多く、市役所の自席に1日中座っていた日は数えるほどという毎日です。

小学校及び中学校への支援は、殆ど教育委員会事務局にお願いしていますが、琵琶湖より広い面積の津市には、こども総合支援室がもう1つぐらい必要だと思います。発達支援のみならず、子育て支援全般に係る施策や虐待への対応などを業務とする室に正規職員及び臨時職員あわせて14名が勤務しており、行政職、保育士、保健師、家庭児童相談員、教師がケース毎にチーム編成を考え、対応していますが、殆どの職員が訪問のため外出していたり、4台の電話が同時に使用されていたりということも珍しくありません。あすなる学園市町支援グループによる巡回指導を受けたモデル園の保育士や幼稚園教諭の皆さんが保育の工夫を重ね、園児さんが確実に成長されていく姿を心の支えにして、今後も地味な努力を積み重ねていきたいと思っています。

個別の指導計画&手作り教材

鈴鹿市 白子保育所保育士 小坂 和代さん

困り感を持った子に、どんな援助をしていけば良いのだろうか。保育をする中で日々悩むことが年々増えています。手立てを考えても、目の前の子に合っているのか確信は持てず手探りで向き合い、後になって考えればとても回り道をした経験を度々してきました。

今年度あすなろ学園の巡回指導を受けることができると聞いて、すぐにお問い合わせしようと思いました。指導計画を立てるだけの支援ではなく、保育所に来ていただき実際に私たちが向き合う子どもたちとクラス集団の様子を見て、的確なアドバイスをもらいました。また、実際の支援で使用した絵や図、手作りの教材を持ってきてくださり、一人ひとりにわかりやすい支援法を学ばせていただきました。

2回目の巡回の際には、こちらの作った教材も出して情報交換もし、支援で変わっていく子どもの様子を伝えることができ、とてもうれしく思いました。

今、途切れのない支援のスタートとして、保育所での支援の大切さを感じています。ありがとうございました。

チームで動く意義実感！

尾鷲市 福祉保健課自立支援係 芝山 知子さん

「子どもたち、大きくなっとなえ。6月(1回目巡回指導時)よりも出来ること増えたとし、やっぱり子どもは成長するねえ。」

これは、12月(2回目)の巡回指導を終えた後、保育園から市役所に帰る車の中で話した言葉です。

今年の4月から尾鷲市でもあすなろ学園の指導・支援を受けて、「発達支援のネットワークづくり」に取り組んでいます。福祉・保健・教育の担当職員が市内の保育園・幼稚園を巡回して、保育士さん・幼稚園教諭さんの取り組みやあすなろ学園のスーパーバイズをじかに見聞きできたことで、具体的な支援方法を学ぶことができました。そして何より子どもたちの成長を目の当たりにして、子どもの成長する力の大きさに驚きました。

しかし、その一方で生きにくさを抱えたまま成長する子どもたちもいて、保育園・幼稚園でやってもらっているきめ細かい関わりや子どもの個性に合った接し方・工夫等を小学校でも引き継いでもらい、これらの支援を途切れなく子どもたちの次のステージ(小学校・中学校・・・)につなげることの重要性を強く感じました。

途切れのない支援ができるかできないかによって、子どもたちの成長を左右することも感じ、改めて、この取り組みに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

将来を担う子どもへの思いを形に！

いなべ市 福祉部健康推進課 藤岡 弘毅さん

市にはなったものの何もなく、何処から手をつけて良いか分からなかった当市に、あすなろ学園が道筋を示してくれて出来上がったのが「チャイルドサポート(子ども総合支援)計画」です。

保育所・幼稚園と保健師の3歳児健診や発達支援での連携、母子保健と教育委員会の発達相談での連携、保育士の発達支援研修、こうした基盤の上に市が目指す「途切れのない支援」のための体制づくりを全面的に支援していただいています。

お陰で「就学前の姿がわかってこそ良い教育は行える。」とする教育と「就労までが子育て」とする福祉の思いもつながりました。発達障がいを含む「困っている子」への支援を中心に、母子保健・子育て支援から、保育、教育へ、そして就労までを途切れなく支援する形が出来つつあります。

本年度は、小学校教諭と保育士各1名があすなろ学園で研修中です。保・幼・小・中の全てに発達支援コーディネーターを選任し合同研修会で意思疎通を行ないました。また、各園に園内支援検討会を設け、担任とコーディネーターのサポート体制も整いつつあります。来年度は、研修を終了した支援専門員を中心にチャイルドサポート室の活動を開始します。今年のコordinエーターをコーディネーターアドバイザーとして裾野を拡大するとともに、あすなろ学園の外来療育をモデルとして、保育所における集団保育に重点を置いている市として、はじめての本格的な療育である「ステップアップ(療育)教室」を計画しています。

「途切れのない支援システム」構築に向けての

講演・研修を、様々な形でお受けいたしております。

① システム構築を先進市町に学ぶ

<志摩市訪問> 尾鷲市・多気町・伊勢市・伊賀市・南伊勢町・大台町・大紀町・玉城町・鳥羽市・度会町

② あすなろ学園での研修会

<個別の指導計画研修会> 玉城町・志摩市・大台町

<分校見学&教材研修会> 伊勢市・志摩市・いなべ市

<保育コーディネータ研修会> いなべ市

<説明&システム構築会議> 津市・鈴鹿市・明和町・伊勢市・いなべ市・名張市・松阪市・志摩市・尾鷲市・大台町・玉城町・鳥羽市・大紀町・四日市市・木曾岬町・伊賀市・東員町・熊野市・御浜町・紀宝町・紀北町・朝日町・川越町・菟野町・多気町・度会町・南伊勢町

③ 講演会、研修会

<講演&事例検討ワークショップ> 川越町・志摩市・玉城町・度会町・熊野市・御浜町・紀宝町

<講演&学習支援員、特別支援コーディネータ研修会> いなべ市・伊勢市・津市

<県関連> 社会福祉協議会研修会、社会福祉協議会専門講座、母子保健指導者研修会、小児保健学会シンポジウム、

事業所内保育施設等保育従事者研修会、PTA連絡協議会研修会

<保育園・幼稚園研修会> いなべ市・鈴鹿市・津市・伊賀市・名張市・伊勢市・志摩市・尾鷲市・紀北町

<保・幼・小・中連携研修会> 志摩市

<その他> 木曾岬町虐待ネットワーク研修会、いなべ市・東員町子育て教室講演会、伊賀市療育施設学習会、津市発達支援事業研修会

ご用命の際は、各市町の保健・福祉・教育窓口を通じてご相談下さい。

インフォメーション

①発達障がい児支援モデル事業研修会

日時：平成21年2月23日（月）13:30～16:30

場所：アスト津 4階 アストホール *駐車場はアスト津（有料）または、県庁外来大駐車場

内容：発達障がい支援システムアドバイザー認定式、事業報告

特別講演 講師 高山恵子さん（NPO法人えじそんくらぶ代表）

演題「困り感のある子の子育てと市町における途切れのない支援」

申込方法 こども家庭室児童福祉グループ 担当：山本 FAX：059-224-2270

平成21年1月23日（金）までにFAXでお申し込み下さい。

②わかりやすい3歳児発達チェックリスト&個別の指導計画作成に関するDVDを只今制作中。

乞うご期待!!

2009年 1月16日

<発行>三重県小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ

〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361

MAIL：asunaro@pref.mie.jp

URL：http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/